

メセナ群馬

2022 夏



原美術館ARC 探訪



美術館の中心となるロビー。ABCの3つの展示室の入り口やインフォメーションコーナーがある。



自然光を取り入れた開放的な屋根



カフェ ダールのテーブル席からみた美術館



印象的な入り口の表示

原美術館ARCは、現代美術の専門館・原美術館と別館・ハラ ミュージアム アークを集約し、2021年4月から新たに活動を始めました。磯崎新設計による独創的なスタイルの黒い木造建築が印象的です。また、広々とした空間の中に、様々な野外展示作品が配置され、私たちの目を楽しませてくれます。館内には、ミュージアムショップやカフェもあり、楽しいひとときを過ごせます。

住所 〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1 TEL0279-24-6585
開館時間 9:30am~4:30pm (入館は4:00pmまで)
入館料 一般 1,100円 大高生 700円 小中生 500円

原美術館ARCメンバーシップ会員は無料、学期中の土曜日は群馬県内の小中学生の入館無料。ぐーちょきパスポートを提示の方、70歳以上の方、障害のある方は特別料金規定あり。



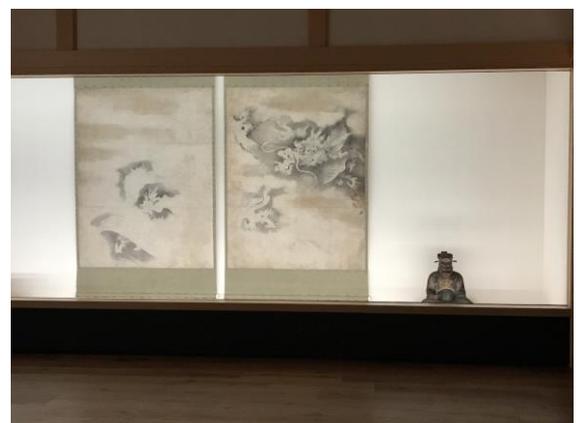
回廊から観海庵を望む



永徳ほか狩野派一門による「三井寺旧日光院客殿障壁画」



入り口にある磯崎新による「観海」の揮毫



狩野派「雲龍図」と閻魔木像

「観海庵」には、明治時代の実業家・原六郎が収集した三井寺旧月光院客殿を彩った障壁画を中心とする東洋古美術が展示されています。建築家・磯崎新は、そこに想を得てこの空間を設計しました。ここには、特注品の和紙や黒漆喰の壁などによる落ち着いた雰囲気の中、現代美術の作品も併せて展示され、それぞれの作品が引き立てあって、新鮮で魅力ある空間を現出させています。

芸術文化はなぜ経済社会に必要なか

染谷 滋

アルタミラやラスコーの洞窟壁画に代表されるように、芸術文化は有史以前から存在しました。芸術文化は、人間の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるだけでなく、多様性を受け入れる豊かな社会を形成し、世界平和にも寄与するものです。

芸術文化には様々なジャンルがあり、文化庁が制定した文化芸術基本法では、歌や漫才などの芸能や、囲碁将棋などの娯楽文化、食文化や国語までも含まれていますが、ここでは具体的にイメージしやすい絵画芸術に限定してお話します。

芸術が人生を豊かにするとしても、経済の分野で絵画鑑賞が何の役に立つか、疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。結論から言えば、絵画鑑賞の効能の最大のもの、「知覚力を磨くこと」だと断言してもいいでしょう。

マネジメントの父、ピーター・F・ドラッカーは、コップに半分入った水を例に挙げ、大半の人が既に入っている半分の水しか見ないにも関わらず、知覚力が優れた人はまだ入っていない半分の空間を見ていると指摘しました。ドラッカー自身、日本の室町水墨画の有名なコレクターですが、このたとえ話には、水墨画の余白を鑑賞する手法と共通するものがあります。日本絵画においては、何も描かれていない余白にこそ価値が認められるからです。

デンマークの玩具メーカーであるレゴ社が、20年ほど前に破産寸前に追い込まれた事があります。

「レゴで遊ぶ子どもの85%は男児である」というデータを見た社長は、多くの社員が「女兒はブロック遊びをしない」と判断していたにもかかわらず、「レゴ社が女兒を顧客として獲得する方法を見出していないだけだ」と結論し、女兒向けのシリーズを開発して経営を建て直しました。

知覚力の中でも、感覚器による知覚は83%が視覚だそうです。その意味で、絵画鑑賞を通じて知覚力を磨くことは、大変有効な方法なのです。

「絵画観察トレーニング」と呼ばれる研修プログラムが、イェール大学やハーバード大学の医学部で行われています。医学生が患者を診察する能力の向上に、絵画鑑賞が大変効果的である事が証明されたからです。

絵画鑑賞がなぜそれほど知覚力の向上に役立つかと言えば、絵画鑑賞では、自身の持つ感覚機能だけでなく、それまで蓄積された知識をフル活動して、さまざまな情報の照合や統合が行われるからです。絵画鑑賞は単に描かれているモチーフの理解にとどまらず、ときとして時代背景や作者の人生にまで分け入ります。仮説や検証などの科学的アプローチがとられることもあります。鑑賞行為自体が、ある種の創造的行為だと言っても過言ではないのです。

ピカソの絵画は、当初は大変難解だと言われていました。それはそれまでの西洋絵画が、カメラで写した写真のように固定した視点での遠近法にこだわっていたのに対し、多視点の認識を取り入れたからです。正面から見た顔と横顔を組み合わせるといった作品がそうです。これは西洋絵画の歴史に革命的な変化をもたらせました。それは単に絵画だけの問題ではなく、世界を多角的な視点で捉えるという世界観の変革だったのです。

ノーベル賞受賞者の9割以上が、何らかの芸術愛好者であるというデータがあります。ドラッカーは絵画を見るように組織の全体図を見ることが大事だと述べています。

芸術文化は、物事を知覚する能力を開発するからこそ、あらゆる分野に必要不可欠なのです。経済においても例外ではありません。試みに、一枚の絵を会社のロビーに飾ってみませんか。

(本法人顧問・元群馬県立館林美術館館長)

令和4年度の抱負

会長 福田一良

令和4年度も、はや8月を迎えようとしております。夏日の到来、早い梅雨明け、豪雨、そしてコロナなど、うっとうしい事柄も多くありますが、私たちの芸術文化に懸ける気持ちは、夏雲のように力強く、青い空のように純粹であります。

過日、国際ロータリー第2840地区第1分区のIMの開催に協力し、経済活動と芸術文化に関するシンポジウムを成功させることができました。

本法人の野村専務理事は、ロータリアンでもありますので実行委員長を務め、運営全体を取り仕切りました。

岡野副理事長も、運営に尽力されました。

本法人顧問の染谷滋氏は、パネリストとして、元県立館林近代美術館館長としての実績を活かし、専門的な立場から経済と芸術文化について経営者の手引きとなる様な貴重な意見を述べられました。

会場では、弦楽アンサンブルすみれの演奏や、絵画作品も展示もあり、具体的な環境を造りあげることの大切さを伝えておりました。ご尽力いただいた皆様方に、厚く御礼申し上げます。

また、令和4年度は、本法人の主催による企画、後援の展覧会などの催しが、現在まで切れ目なく開かれています。本法人の趣旨に照らして、誠に心強く、嬉しい限りです。

そして、私たち自身も、会員として、美術や音楽の実際の場に臨み、芸術の喜びに満たされることにより、感性を磨き、知識を身につけ、経営は元より人生そのものを豊かにして行きたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



受賞者を囲んでの記念撮影。
本年3月、臨時社員総会(令和3年度)に引き続いて行なわれた芸術文化奨励賞授賞式において。

副理事長新任のことば

副理事長 岡野訓也

この度、副理事長に選任されました岡野訓也です。副理事長という重責に、身の引き締まる思いです。

芸術文化について、専門的な知識については、はなはだ心許ない思いもありますが、広く社会貢献という意識で、この仕事に取り組みたいと考えております。

芸術文化も経済活動も、切り離せない重要な活動であることは論を待ちません。広く先進的な取り組みに学びながら、私たち地域の独自性を求めて、具体的な施策に取り組みでいきたいと考えております。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

令和4年度 役員

会 長	福田 一良 (再選)
理 事 長	蟻川七郎次 (再選)
副理事長	岡野 訓也 (執行理事) (新任)
専務理事	野村 品司 (執行理事) (再選)
常務理事	黒岩 保弘 (執行理事) (再選)
常務理事	添川 秀樹 (執行理事) (再選)
常務理事	千木良芳明 (執行理事) (新任)
理 事	新井 聡 (再選)
理 事	内山 充 (再選)
理 事	塩谷 輝行 (再選)
理 事	中島 清明 (再選)
監 事	金子 聖子 (新任)
監 事	星野 大輔 (再選)



IM会場・シンポジウムの様子(令和4年 月 日)
IMとは、インターシティーミーティング、都市連合会のこと。ロータリー情報を学び、親睦を図る会合。

公益社団法人企業メセナ群馬 令和3年度(2021年度)事業報告書

1 事業実施の目的

公益社団法人企業メセナ群馬の掲げる目的をもって令和3年度(2021年度)の事業を実施しました。

目的:「会員相互の連絡協議を進めるとともに他企業、他団体、行政機関等に対しメセナ活動に関する啓蒙や情報提供を行うことにより、メセナ活動に対する群馬県民の理解を広めて地域社会の芸術文化の向上と発展に寄与する」

2 事業の概要

(1) 芸術文化に関する啓蒙と普及

①メセナレターに替わり、会報「メセナ群馬」を発行しました。

・「メセナ群馬」(令和3年6月)「メセナ群馬2022春」(令和4年3月)・写真などの視覚情報を増やし、文化芸術に関する情報を会員が受け止めやすくするように工夫しました。

・本法人の活動に関する内容とともに、地域の芸術文化活動についても取り上げていくように工夫しました。

②「メセナ群馬」の発送は、会員ならびに主な関係機関(図書館など)に発送しました。今後、従来通りの発送先に近づけていくように考えています。

③ホームページの更新は、年度当初のみになりました。今後は、その役割を再確認し、適宜更新するよういたします。

④県展等の再開により、企業メセナ群馬賞を提供しました。

○連盟展(第68回・2021年6月23日～28日・昌賢学園前橋ホールにて開催)

企業メセナ群馬賞 小沼育子(日本画)・高橋克人(洋画) 日高萌久(建築)・宮川礼衣(ジュニア)

○県写真展(第69回・2021年9月19日～25日の期間が、コロナのため延期となり、2022年3月20日～26日、群馬県庁県民ホールにて開催)

企業メセナ群馬賞 阿部浩之(風景)

○児童画展(第32回MOA児童画作品展・展覧会、表彰式は開催せず。)

○県美術展(第72回・2021年11月20日～29日・県立近代美術館にて開催)

企業メセナ群馬賞 金井昭恵(日本画)・高柴昌幸(洋画) 岡安眞也(彫刻)・春山崇(工芸)

○県書道展(第72回・2021年12月5日～15日・県立近代美術館にて開催)

企業メセナ群馬賞 深田翠葉(漢字)

○前橋市民展(第56回・美術2022年2月25日～27日・写真2022年3月4日～6日

・書道2022年3月11日～13日)

企業メセナ群馬賞 高橋政男(書道) 檜谷安紀(美術) 坂部浩一(写真)

⑤広瀬川美術館で開催している「企業メセナ群馬賞受賞者作品展」は、新型コロナ感染拡大防止のため、広瀬川美術館休館となったのを機に、開催の内容・方法について検討していくことになり、開催いたしませんでした。

⑥芸術文化活動に関わる団体等のイベントについて後援ならびに協力を行いました。

○リレー展「富岡製糸場西置繭所における場と表現」

I期:河内世紀一・「繭と糸のアルケオロジー〈紡ぐ〉記憶から」

(2021年6月19日～30日)富岡製糸場西置繭所多目的ホール

II期:村上雅紀 上州文化ラボ 表現と活動の記録

(2021年7月10日～18日)富岡製糸場西置繭所多目的ホール

○第52回ぐんま女流美術展(2021年8月20日～25日)高崎シティギャラリー

○川隅路之助ー未来へー生き続ける詩情展(2021年10月28、29、30、31日)旧安田銀行担保倉庫西側

○第24回スカulptゥーラ展～ヒカリ～(2021年11月26日～12月1日)高崎シティギャラリー第6展示室

○Chapine ～うた×ピアノ×こと アフタヌーンコンサート vol.2 (2021年12月4日)

高崎シティギャラリー・コアホール

○群馬バロックオーケストラ特別演奏会 Vol.2 (2022年2月17日・18日)

17日 前橋テルサホール 18日 高崎芸術劇場 音楽ホール

⑦他団体との情報交換、情報収集については、コロナの状況を踏まえ、近隣の市町村の美術館、ギャラリーの見学等を行いました。

・県立近代美術館展示見学(執行理事会を兼ねて)

・フランソワ・ボンボン展見学(役員有志)

・「石井壬子夫のドローイング展」(足利・アートスペース&カフェ・役員有志)

・群馬バロックオーケストラ特別演奏会(会員有志)

(2) 芸術文化活動に対する奨励賞(活動支援)

・本年度は、審査委員会での審議の後、理事会の承認を経て、賞金額10万円を3名のアーティストに贈呈しました。

村上早(版画家) ましもゆき(画家) 宮川彩音(フルート奏者)

・上記同様理事会の承認を経て、本年度より特定非営利活動法人「弦楽アンサンブルすみれ」に3万円協賛することとしました。

(3) 会員の増強について

本年は次の結果となりました。(令和4年3月31日現在)

正会員 13名 年会費金額 1,560,000円(前年比 Δ360,000円)

賛助会員 37名 年会費金額 660,000円(前年比 Δ110,000円)

計 50名 " 2,220,000円(前年比 Δ470,000円)

※賛助会員の内訳 1口=22名(内5,000円×2・年度内加入のため)

3口=15名 計37名

(4) 収益事業の実施はありませんでした。

公益社団法人企業メセナ群馬 令和4年度事業計画書

1 事業実施の目的

公益社団法人企業メセナ群馬においては会員相互の連絡協議を進めるとともに、他企業、他団体、行政機関等に対しメセナ活動に関する啓蒙や情報提供を行うことによりメセナ活動に対する県民の理解を広めて群馬の芸術文化の向上と発展に寄与することを目的とする。

2 事業の概要

(1) 芸術文化に関する啓蒙と普及事業

ア：会報「メセナ群馬」を発行し、芸術文化に関する情報等を掲載する。配布は全会員に送付するほか、縣市等の行政機関や各市商工会議所、各経済団体、市町文化協会等の団体へも送付し啓蒙への協力を依頼する。さらに、芸術文化振興に関わる各種イベント開催時には、主催者の求めに応じてイベント参加者にも配布を行う。

イ：企業メセナ群馬のホームページを適宜更新し、企業メセナ群馬の活動をPRするとともに、啓蒙普及を図る。

ウ：群馬県展、県写真展、県書道展、群馬連盟展、前橋市民展、前橋児童画作品展等の公募展に「企業メセナ群馬賞」を本年も設定し、美術界及び一般県民、市民にメセナ活動についての関心と理解の深化を図る。

エ：芸術文化活動にかかわる団体及び個人が開催する事業に後援等の支援を行う。

オ：美術館見学や専門家による講演会などを企画し、直接芸術文化に接することにより、会員相互並びに一般市民の文化振興に対する意識向上を図る。

(2) 情報収集・提供事業

ア：インターネットやメールを活用して、情報収集に努める。また、公社・企業メセナ協議会（東京）とのリンクを図り、情報提供と収集の機会を拡充する。

(3) 芸術文化奨励賞（活動支援）事業

ア：県内全域にわたって活動支援者を発掘し、原則年1回活動支援を実施する。

イ：審査委員会規定及び審査の基本方針に基づき慎重な審査を行う。

ウ：贈呈式にて「芸術文化奨励賞」及び金一封を贈呈する。

(4) 同様の機関・団体等との交流事業

ア：全国のメセナ活動の団体と資料及び情報の交換を行う。

イ：地域の他団体（ロータリークラブ等）と交流を行ない、具体的な催し物を協同で企画運営するなどして、文化振興に積極的に努める。

3 2022年度の重点施策

会員の増強

事業活動の発展と会計収支の確保のため本年度の会員増強を計画し実施する。

目標： 正会員	17社	年会費額	2,040千円
前年度	15社	年会費額	1,800千円
(前年度比	+2社)	(増加金額	+240千円)
賛助会員	45社・名	年会費額	800千円
前年度	40社・名	年会費額	750千円
(前年度比	+5社・名)	(増加金額	+50千円)



弦楽アンサンブルすみれ・練習風景

主な主催事業

富岡製糸場西置繭所多目的ホールでの企画展覧会
富岡市と共催

猫 集合！一猫と養蚕信仰 4・14～24



養蚕が盛んな地域では、猫を蚕の守り神として、崇敬する習わしが多い。近年の猫ブームによって猫の姿が描かれたお札を、コレクションとして収集する愛好家も多いといわれます。今回は、岩松道純の猫絵から、切り絵や人形など、猫をモチーフにした作品を集めました。併せて、養蚕執行の資料なども展示しました。



いずみなつみ個展 5・2mon.～15sun.

いずみなつみの読まない書 -現代書への挑戦- Langage -紡ぐ

都内を中心に、全国的に活動する若手現代書家・泉夏深さんの展覧会。泉さんは、たまたま訪れた富岡製糸場西置繭所の建築空間に感動し、展覧会を構想。会場で、富岡シルクに書を揮毫するライブパフォーマンスを行い、来場者の注目を集めました。



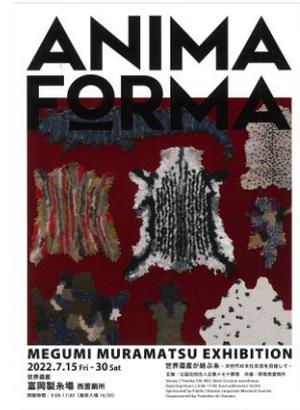
河内世紀一展 6・3fri.～12sun.

「世界遺産と同心円ーシンボライズされた宇宙ー」



昨年に引き続き、「富岡製糸場西置繭所における場と表現Ⅲ」として、同心円を描いた作品を会場に展示。多くの人の注目を集めました。

村松恵展 ANIMA FORMA(アニマ・フォルマ)
2022・7・15Fri~30Sat



作家の言葉 村松 恵 多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻卒。株式会社良品計画企画デザイン室を経て独立。

狩猟時代から現代に至るまで、私たちは生活の多くを他の生命に依存して文明を継続してきました。衣食住のすべてを直接的・間接的にさまざまな動物からの恩恵の上に成立させています。その歴史があまりにも長く続いているため、その状態が当たり前のように思われ、意識が鈍化し、人間の傲慢さが際限なく助長されながら、多種多様な種の絶滅を含め地球規模の問題を増産しています。

動物の体毛を主体に生産される毛織物。その毛織物も生産過程において、「捨て耳」と呼ばれる廃棄物が発生します。その捨て耳にも原料である動物の体毛と全く同じ遺伝子・DNAが宿っています。つまり同じ生命の延長なのです。織物工場の片隅にある捨て耳の塊の山を目の当たりにした時、それらにも生命を吹き込むことはできないか？という単純な衝動に突き動かされました。

ラテン語で「魂のカチ子」という意味の「ANIMA FORMA」(アニマ・フォルマ)。文字通りアニミズムの考えから生まれました。ANIM FORMは、ウール生地を生産過程で廃棄される端材に新しい命を吹き込み、テキスタイルとして蘇生させるアートプロジェクトです。捨てられるモノへの後ろめたい気持ちを、自分なりのやり方で浄化させることは小さな一歩ですが、地球全体の浄化にきっとつながると信じています。

株式会社ヤマト企画

令和2年度企業メセナ群馬芸術文化奨励賞受賞記念

渡辺香奈 私のしごと 油彩×富岡桑木炭デッサン
2022・5・27Fri~6・26Sun 本社1階ギャラリーホール



桑木炭を使ったライブデッサン



作家の言葉 (画集より抜粋) 渡辺香奈 慶應義塾大学大学院政策メディア研究科修了 文化庁新進芸術家海外派遣マドリドコンプルテンセ国立大学

スペインでは芸術と生活が一体化しており、何ら特別なものではない。これが自国の文化というものかと、強い羨望と衝撃を受けた。この自然な在り方は、職業を画家と名乗っても受け入れられる世界が広がっていた。世界的な芸術家を輩出してきたスペイン。現代の芸術家たちは、彼らを今に伝える礎でもある。だがこれは、あえて理想として掲げ、目指して達成できるものだろうか。分厚くストレートな歴史。今も続く芸術への誇り。それが絶え間なく脈々と続き、滑らかで意識することのない日常へと溶け込んでいる。この空気を吸い、彼らは今日もバルでビールを飲む。

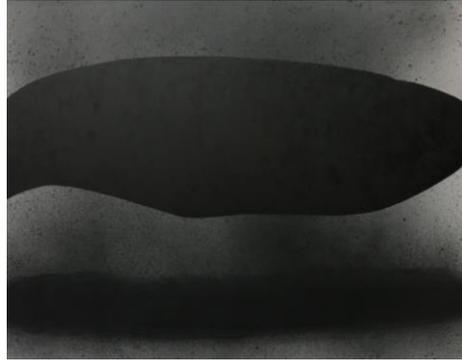
最近取り組んだ桑の木炭は、ここに起因する。養蚕業では、桑の葉は蚕の飼料とするが枝は不要となり、炭を焼く緩衝材として使用される。養蚕のサイクルの中で自然と発生し、不要とされていた木炭。そしてその木炭は、私が半年間も方々を探しなかなか出会えなかったデッサン木炭としての画材。二重の驚きと発見。図らずも、今も続く土地の産業から、芸術文化への繋がりを見出す活動となった。なんとも魅力的な文化の種ではないか。ヨーロッパでも、シエナ地方に由来する絵の具がある。パートシエンナやローシエンナと呼ばれる油絵の具で、今現在も使われている。この桑の木炭を手にしたとき、私はそれを思い出した。

「第 69 回連盟展」(群馬美術家連盟)
企業メセナ群馬賞受賞者作品

令和 4 年 6 月 22 日(水)~27 日(月)
昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)



日本画部
「カサブランカ」 F30 小沼育子



洋画部
「過ぎし夏の思い出」 F100 豊泉光正



日本画部「月咲陽沈」
180×60 cm
鈴木 克男
(連盟顧問)
(※鈴木氏は、
本法人賛助会員)



建築部
「ねぶたの家」「ゆっくりズムの街の家」その他
桐工建築研究部



ジュニア部
「雨後の夢」 F20 金井美星



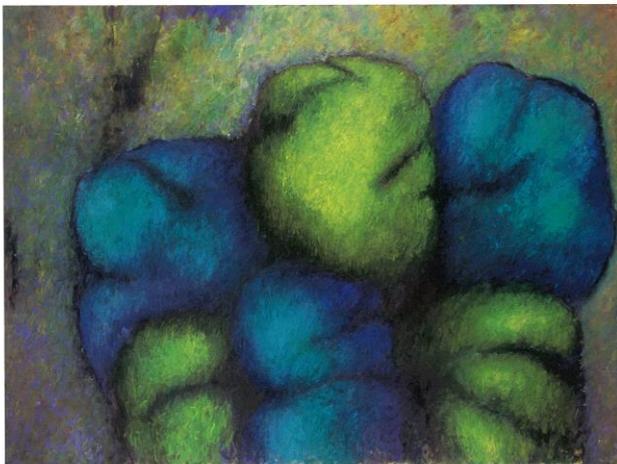
連盟賞
「仮装風景(Apr.25)」 F100 河内世紀一
(※河内氏は本法人賛助会員)

展覧会案内

雲をつかむ 原美術館/原六郎コレクション

第1期【春夏季】: 2022年3月19日(土)~9月4日(日)
第2期【秋冬季】: 2022年9月10日(土)~2023年1月9日(月・祝)

原美術館ARC



Grasping at Clouds

Works from the Hara Museum and
the Hara Rokuro Collections

Part I: March 19 (Sat.) – September 4 (Sun.), 2022
Part II: September 10 (Sat.), 2022 – January 9 (Mon.), 2023

Hara Museum ARC

複製販売「原六郎」1997年 Tokyo Tatsuura, Limited 97.4.1997



- 角田無幻
- 武蔵梅城
- 菅井梅雨
- 林 豊山
- 松本隆波
- 青柳野郎
- 林 青山
- 豊板文房
- 小室翠雲
- 磯部翠元
- 大塚操山
- 金井福保
- 村上鬼城
- 阿部霞堂
- 針保桂太郎
- 新田道純
- 船津長次平
- 松野白屏
- 日向照波
- 村上操剛
- 須佐天舟
- 角田静竹
- 林田山岳
- 松本空洲
- 眞田精峰
- 小林貞二
- 住谷朝銀
- 新橋内次郎

明治生まれの
孤高の彫刻家
村山琴泉と
郷土の画家展

Harasawa Collection Vol.10

2022 8.27 sat ▶ 9.4 sun
* 8.31 休館

13:00 - 18:00 入場 無料

場 所: 旧安田銀行担保倉庫 西側
前橋市住吉町 2-10-2
お問合せ: 090-2568-1180(原澤)

【アクセス】
前橋駅より徒歩10分
前橋駅西口より徒歩10分
前橋駅南口より徒歩10分
前橋駅北口より徒歩10分
前橋駅東口より徒歩10分
前橋駅西口より徒歩10分
前橋駅南口より徒歩10分
前橋駅北口より徒歩10分
前橋駅東口より徒歩10分

【主催】ハラサワコレクション 【後援】(公社)企業メセナ群馬 【協力】彫刻家金石文研究会、(公)前橋商品市場、上州文化ラゾ

令和4年度 公益社団法人 企業メセナ群馬会員名簿

○正会員

(株)岡野機械 (岡野訓也)
(有)共生システムアリソン (蟻川七郎次)
黒岩測量設計株式会社 (黒岩保弘)
(株)群馬銀行 (深井彰彦)
群馬トヨペット株式会社 (大山駿作)
群馬ヤクルト株式会社 (塩谷輝行)
(株)詩季画材 (野村和品司)

(株)上毛新聞社 (内山充)
(株)ステージサービス群馬 (添川秀樹)
(株)東和銀行 (江原洋)
永田会計事務所 (永田智彦)
(株)福田不動産 (福田一良)
(株)星野総合商事 (星野大輔)
(株)ヤマト (町田豊)

○賛助会員

学校法人有坂中央学園 (中島利郎)
社会保険労務士法人板垣労務管理事務所 (板垣 忍)
栗原レントゲン株式会社 (板垣正夫)
群馬日野自動車株式会社 (中村丙午)
群馬三菱自動車販売(株) (大崎巖)
(株)コア (新井聡)
(株)コミュニケーション優美 (荒川優)

新制配電株式会社 (新井登)
税理士法人テシマ会計 (手島保)
(株)ちぎらホテル (千木良芳明)
(株)天国社中央 (福井謙一)
ホンダカーズ前橋東 (中島清明)
ユニオンシステム(株) (石井國雄)
和佐田幸子司法書士事務所 (和佐田幸子)

阿久津眞一 相澤慎司 浅見秋美 飯塚まり子 岩瀬栄子 打越正宏 大谷泰治 金子聖子
金子めぐみ 河内世紀一 黒岩千春 小林和義 酒井重良 鈴木克男 関口俊雄 染谷 滋
竹内理絵 中島資浩 野中志保 林 幸一 船崎秀信 真下京子 峰岸祥子 山本和代

群馬バロックオーケストラ VOL. 6



令和4年11月5日(土) 15時開演

玉村町文化センター 大ホール

出演者 群馬バロックオーケストラ 高崎バロック合唱団

指揮 中田延亮

ソリスト アルト 谷地敏晶子

テノール 大島 博

バス 菅谷公博

プログラム パッヘルベル カノンとジーク

J.S. バッハ 管弦楽組曲第2番 短調 BWV1067

J.S. バッハ ミサ曲 短調 BWV 235

他

入場料 全自由席 一般 3,000円 高校生以下 1,000円

※未就学児入場不可

表紙の絵



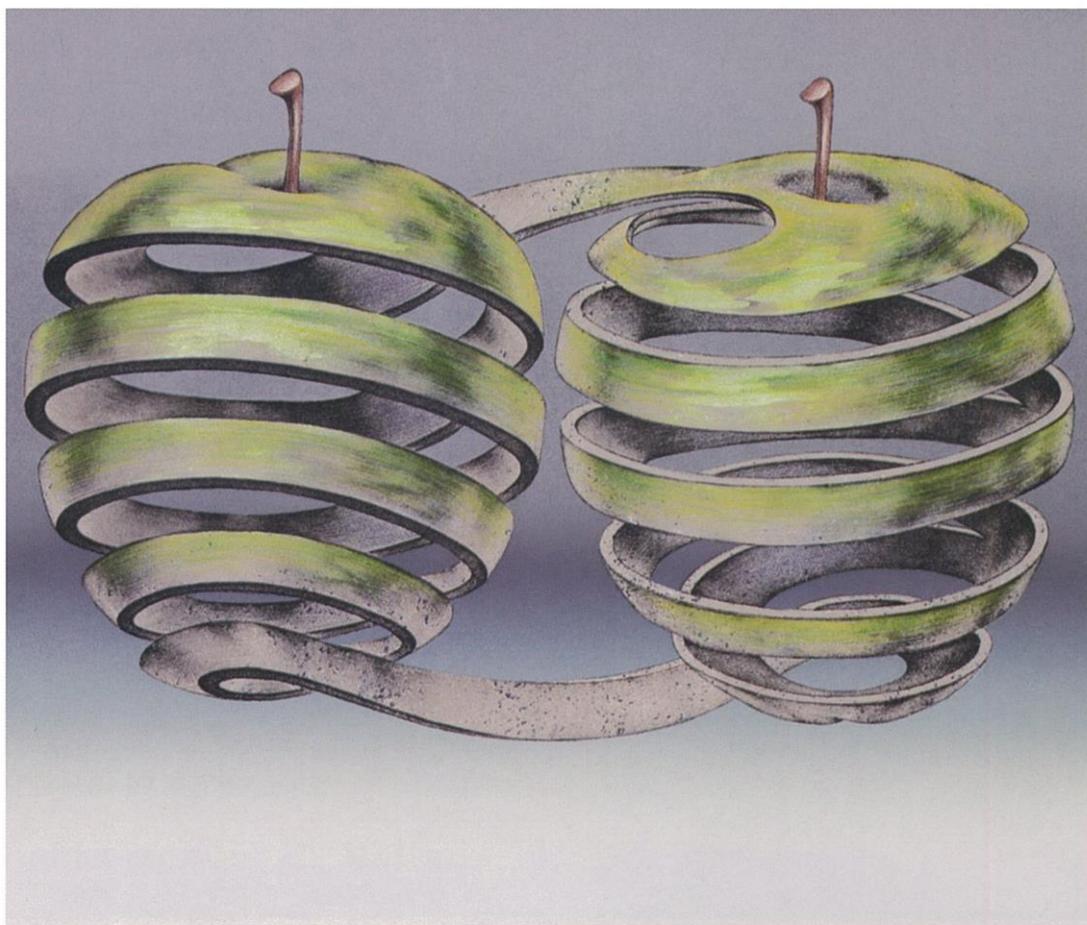
ましもゆき 《火の花》 2021ink, paper mounted on panel
72.8×116.5 cm Phot: Kei Okano

豊科の美術館で、「夏」に出会いました。
高田博厚の彫像は、まるで「夏の女神」。
大地が、そのまま隆起したような、
優しさと威厳と。
遠くには、北アルプスの山々。
そして、青い空と白い雲。
「夏」は私に、
永遠の命について語ってくれました。



MATSUMURA

富岡製糸場西置繭所における場と表現Ⅲ
松村誠一個展 一迷宮のアルゴリズム



2022年 Apple ÷ Apple

2022.8.1(月)~8.14(日) a.m.9:00~p.m.5:00

富岡製糸場西置繭所多目的ホール

主催 公益社団法人企業メセナ群馬 共催 富岡市

SEIICHI